

ちょっと気になる子どもの様子から、その要因を探り、対処の方法を考え、環境を整えましょう！

この子は、なぜ紙芝居（本）に集中できないのでしょうか？



STEP1 環境面での要因を考えてみましょう

例えば・・・

【視覚的に】

- ☐ 明るすぎて落ち着かない。
- ☐ 他の子の姿が視野に入って、集中できない。
- ☐ 先生の背中側にあるモノが目に入って落ち着かない。
- ☐ 紙芝居（本）が見えにくい。

【聴覚的に】

- ☐ 隣の保育室の音（歌や楽器の音など）が気になる。

【身体的に】

- ☐ 姿勢や座る位置が定まらず、集中できない。



【出典】『保育園・幼稚園のちょっと気になる子』
中川信子著 ぶどう社

その他にも、時間の見通しがもてないことも、集中できない要因の一つかもしれません。



STEP2 対処の方法を考えてみましょう

例えば・・・

【視覚的に】

- ☐ カーテンを閉めて少し暗めにする。逆光にならないように先生が暗い側を背にするようにする。
- ☐ 集中しにくい子を最前列、先生のそばに座らせる。
- ☐ 子どもの視界を考え、先生の背面がシンプルになるように何も置かない。または無地のパネルなどを置く。
- ☐ 両端、一番後ろの列の子に紙芝居（本）が見えるか確認する。

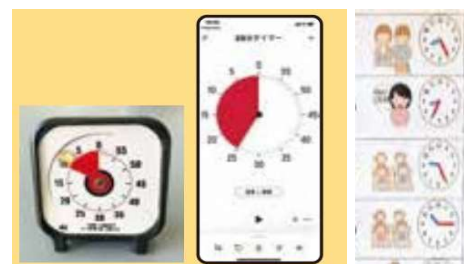
【聴覚的に】

- ☐ 集中できる時間を園内で相談してつくる。
聞き取りやすい大きめのはっきりとした声と発音で読む。

【身体的に】

- ☐ フラフープや座布団などで座る範囲を示す。
椅子の場合は床に足裏がしっかりついているか確認する。

※時間の見通しをもてる環境づくりも大切です



鳥取県教育委員会 特別支援教育課
「子どもたちの『わかる』『できる』を
ささえるユニバーサルデザインの視点を
生かした指導・支援」より



子どもたちが集中して学習するためには、環境づくりが大切です。保育室や教室の刺激量の調整や時間の構造化について考えてみましょう。園と小学校等のお互いの授業参観や保育参観後の協議に、このような環境の工夫についての視点も加えて、お互いの保育・教育の質の向上を目指しましょう。

